

日本共産党 日立市議団ニュース

No. 33 2004年5月27日
発行 日本共産党日立市議団
連絡先 日本共産党北部地区委員会
日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501



小林真美子
(21)4919



大曾根勝正
(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

「存続へ県は支援策を」 茨城・日立電鉄線廃止問題 「日立電鉄線を存続させる会」が知事に要望

茨城県の日立市と常陸太田市を結ぶ日立電鉄線を運営している日立電鉄（本社・日立市）が来年3月末での同線廃止を国に届けています。この問題で、「日立電鉄線を存続させる会」（代表・五十嵐武夫、小野瀬文雄の両氏）は21日、橋本昌知事あてに、存続に必要な指導と支援策を求める要望書を提出しました。要望書には三千百二十七人の署名が添えられています。

要望書提出には沿線住民をはじめ、日本共産党の大曾根勝正、小林真美子の両日立市議、宇野隆子常陸太田市議らが参加しました。大内久美子県議が同席しました。

応対した県企画課の室町正男副参事は「二市、県、電鉄の四者でいろんな角度から検討していきたい」とのべました。

要望書提出参加者は、署名運動のなかで寄せられた「交通渋滞のなか、代替バスを走らせたらとんでもないことになる」「なくなると一番困るのが高校生やお年寄り。高校選択の幅が狭くなる」「廃線は二市だけの問題ではない」と指摘し、存続に向けた県の積極的な関与と利用者や沿線住民が発言できる協議会の設置などを求めました。

二十四日に関東運輸局で開かれる意見聴取について、室町副参事は「企画部長が出席し、県民のみなさんから出された要望を伝えたい」と答えました。

（しんぶん赤旗5/22付より）

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku> です。
「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。
ご意見、ご感想をお寄せ下さい。